

開会中の9月定例議会は、7日から10日まで通告した22名の議員が一般質問に立ちました。日本共産党の山岡光広・岡田重美・西山実議員は、持ち時間いっぱい使って切実な要求の実現と市政の問題点を質しました。その概要を報告します。

山岡光広議員

山岡光広議員は、①7月の知事選から投票所が大幅削減され投票率が平均で12%も低下した問題、②令和7年度希望ヶ丘学区まちづくり協議会への自治振興交付金が不交付となったことについて、③紫香楽ハイランドの崩落事故と盛土規制法について、④育児休業中の学童保育について、の四項目について質問しました。

甲賀市内の投票所は、95カ所から49カ所へと大幅に削減されました。またこの投票所削減に連動して候補者ポスターの掲示板も499カ所から309カ所へと大幅に削減されました。

山岡議員は、「投票所が統廃合された地域ほど投票率が減っている」と資料を示しながら、投票率向上のために、期日前投票や不在者投票の改善、選挙公報をもっと早く届けること、投票率が低い若者対策、候補者ポスター掲示板の位置と数を改善するよう求めました。特に、公選法と政令で示されている法定の掲示板数（376カ所）よりも減らされている点や「もつと見やすい位置に見直し、改善するべき」と求めました。これに選挙管理委員会事務局長は「地域の実情をふまえて改善・見直しをする」と約束しました。

県の調査によると造成盛土は、756カ所のうち甲賀市内が216カ所も。崩れた紫香楽ハイランドもそのひとつで、応急対策が「必要ない」と判断した地域。そこで地滑りが生じたため「他の地域でも起こりうる可能性がある。対策を」と求めました。

岡田重美議員

岡田重美議員は、①安心して介護が受けられるよう、第10期介護保険事業計画の策定について、②子どもの権利が守られ保障されるよう、甲賀市子ども基本条例(案)について、③ジェンダー平等社会へ男女のトイレ格差改善、全ての小中学校に生理用品の設置を、④産廃処分場建設計画、市として反対の表明をするべき時にきているのでは、の4項目について質問しました。

介護事業所は人材不足や経営悪化により全国的にも廃業等が続出していますが、質問したところ、甲賀市においても訪問介護やケアマネジャー、訪問看護等の11事業所が廃止など深刻な状況であることがわかりました。介護事業所からは市に対し人材確保や処遇改善への要望が出ていることから、市として人材確保対策強化を図ること、国に介護報酬引き上げを要望するよう求めました。また、介護サービス利用料の減免制度、高すぎる介護保険料は、介護給付費準備基金を活用して引き下げよう求めました。

産廃処分場建設計画については、水源地における特定の施設の建設や排水を規制し、水質や水量の保全を図ることができる水道水源保護条例を制定してはどうかと提案しました。また、岐阜県高山市では産廃計画について議会も高山市長も反対をしていることを紹介し、岩永市長に「反対」を表明するべきと迫りましたが、市長は「最大の対応をしていく」とこれまでと同様の答弁に留まりました。

西山実議員

西山実議員は、①何よりも命を守ることが優先に、災害関連死を防ぐ対策の強化を、②甲賀市の平和のとりくみの強化を、③外国人市民と共につくる「多文化共生社会」を、の3項目について質問しました。

7月の熊本地震でも問題となった避難所の環境問題を取り上げ、「何よりも助かった命が奪われるようなことはあってはならない」と、災害関連死を防ぐ対策として、冷暖房の設置、トイレ、食事、簡易ベットの充実を求めました。

小学6年生の児童15人が、平和記念式典に参加する「広島平和記念事業」は、県内でも特筆すべき平和の取り組みだけに、参加人数を増やすことや、参加者の尊い経験を文集やビデオメッセージをつくり全校で学ぶ機会にすべきと質問したところ、教育部長は、「平和の尊さを自らの問題としてとらえ考える機会となる意義深い教育活動、同年代の児童の気づきを伝え共有・共感する本事業の本質を総合学習等で働き掛けたい」と回答がありました。

甲賀市における外国人市民は4959人、5.7%、習慣の違いによるトラブルを防ぐためにも、外国人市民に対する生活オリエンテーションの実施やさしい日本語の普及、日本人が外国の文化を知る機会、子どものころから国際理解を広げる取り組みが必要と質しました。また、地域社会の担い手として、地域との連携を強めること、市役所内の連携、職員研修が必要と質問しました。

議案質疑で発言したのは4名だけ… 議会は引き続き常任委員会で

4日の議案質疑は、日本共産党の3名と瑞誠の会の中山議員の4名のみ発言。

●：山岡議員は、令和7年度一般会計決算について、代表監査委員に決算審査意見書の内容をもとに質疑しました。希望ヶ丘学区まちづくり協議会の交付金が不交付となっている問題、不用額の多さ、歳入歳出外現金の不明金等を問いました。歳入歳出外現金不明金については、市役所内の内部統制が図られていないなど回答がありました。また総務部長に未執行事業や、国から交付される基準財政需要額の算定基礎、事業執行にどれだけ生かされているか等について質疑しました。

●：岡田議員は、一般会計決算では、物価高騰対策やふるさと納税について問いました。物価高騰対策に要した額は前年度に比べ減っており、対策として不十分ではないかと指摘しました。

介護保険特別会計決算では、介護サービス利用者数や介護保険料の滞納等について質疑しました。

●：西山議員は、国民健康保険特別会計決算について、国保税の収納率や滞納等について質疑しました。新たな未納者が増えていることに対し、総務部長からは物価高騰が原因で払い難くなっているとの回答がありました。医療費の推移や、特定検診受診率についても問いました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 9月13日 第598号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044